



arts in hearts  
TOYOTA

第1883回

トヨタコミュニティコンサート in 倉敷  
TOYOTA COMMUNITY CONCERT

あなたの心に音楽をお届けして44年目

## 倉敷管弦楽団

### 創立50周年記念演奏会

# クラシック音楽で踊る♪



G.ビゼー  
「アルルの女」組曲第2番  
Georges Bizet / L'Arlesienne Suite No. 2

M.ラヴェル  
ボレロ  
Joseph Maurice Ravel / Boléro

L.v.ベートーヴェン  
交響曲第7番イ長調 作品92  
Ludwig van Beethoven /  
Symphony No. 7 in A major, Op. 92

トーク：篠崎 史紀 × 三枝 成彰

指揮 (NHK交響楽団特別コンサートマスター)

篠崎 史紀  
Fuminori Shinozaki

音楽監督  
三枝 成彰  
Shigeaki Saegusa

2024.11.3 日

倉敷市民会館ホール

開場 13:30 開演 14:30 終演予定 16:30

主催：倉敷管弦楽団、岡山県トヨタ販売会社グループ、トヨタ自動車株式会社  
協力：岡山県バレエ連盟、倉敷シティバレエ、(公社)日本アマチュアオーケストラ連盟  
後援：岡山県、倉敷市、岡山県現代舞踊連盟、(公財)岡山県郷土文化財団、  
(公財)倉敷市文化振興財団、山陽新聞社、RSK山陽放送、OHK岡山放送、  
TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送

トヨタは“いい町・いい社会”づくりをめざし、  
アマチュアオーケストラ活動を1981年から応援しています。

WEBサイト ▶



Instagram ▶



artist:  
春日 一志 /  
Able Art Company

## ♪ TCC 倉敷公演について About TCC Kurashiki Performance

トヨタ自動車株式会社様、全国のトヨタ販売店様のご支援により、44年にわたる「トヨタコミュニティコンサート」が継続して開催できますことを、心より感謝申し上げます。

2020年に「1万人で第九を奏で、歌い、踊る」というトヨタコミュニティコンサート企画がコロナ禍で中止となり、このたび創立50周年を迎えた倉敷管弦楽団様の公演で、満を持して「クラシック音楽で踊る」として実現できることを嬉しく思います。

誰もが知るラヴェル：ポレロはもともとバレエ音楽ですからダンサーとの共演は当然ですが、ワーグナーが「舞踏の神格化」と評したベートーヴェン：交響曲第7番が篠崎史紀さんの指揮、福田圭吾さん、福岡雄大さんの振付・演出により、どんな新しい作品となって生まれ変わるかを楽しみにしております。

音楽監督

三枝 成彰

Shigeaki Saegusa



## ♪ 祝辞 Celebratory Statement

「第1883回トヨタコミュニティコンサート in 倉敷 倉敷管弦楽団創立50周年記念演奏会 クラシック音楽で踊る♪」が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

倉敷管弦楽団におかれましては、昭和49年に弦楽合奏を中心とした「倉敷室内管弦楽団」として創設されて以来、倉敷市を代表するオーケストラとして発展してこられました。

本日は、岡山県トヨタ販売会社グループ、トヨタ自動車株式会社の御支援を受け、オーケストラとクラシック・コンテンポラリーの創作ダンスとのコラボレーションで構成された、倉敷管弦楽団創立50周年にふさわしい一期一会の壮大な記念演奏会が開催されると伺っております。

今回の演奏会のために選出されたTCC倉敷ダンスカンパニーのダンサーの方々がか倉敷管弦楽団の巧みに奏でる「ポレロ」をはじめとするリズムカルな曲目に合わせて演じられる趣向を凝らした舞台に、観客の皆様も大いに魅了されるものと存じます。

今後とも、音楽を通じて、本市の音楽文化の振興、発展向上に更なるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本日のコンサートの御成功と、倉敷管弦楽団の今後更なる御発展をお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

倉敷市長

伊東 香織

Kaori Ito



## ♪ ご挨拶 Greeting

日本全国のアマチュアオーケストラ活動を支援して開催されているトヨタコミュニティコンサートが「倉敷管弦楽団創立50周年記念演奏会“クラシック音楽で踊る♪”」として我々のホームグラウンドで開催できますこと、誠に嬉しく存じます。

本楽団は、お陰様で本年12月に創立50周年を迎えます。これまで多くの方々に支えていただき心より感謝申し上げます。

本公演では、音楽監督である三枝成彰先生が「のだめカンタービレ」で有名になったベートーヴェンの交響曲第7番にダンスをつけるという斬新な企画を考えられ、我々団員もワクワクしております。さらに、指揮をNHK交響楽団特別コンサートマスターのマロさんこと篠崎史紀さんをお願いしており、まさに見どころ聴きどころ満載の楽しい演奏会になるものと確信しております。

日本を代表するトップダンサー、この日まで練習を重ねてきた地元ダンサーとのコラボレーションをどうぞお楽しみください。

倉敷管弦楽団团长

**菊池 東**

To Kikuchi



本日は、トヨタコミュニティコンサート「倉敷管弦楽団創立50周年記念演奏会」にご来場いただき、誠にありがとうございます。

トヨタコミュニティコンサートは、アマチュアオーケストラの皆様とトヨタ自動車・トヨタ販売店が連携して開催するクラシックコンサートです。1981年のスタート以来、日本全国で開催しており、本年度で44年目を迎えました。

今回の演奏会は、1974年の創立以来、地域の音楽文化を支え続け、数々の素晴らしい演奏を披露してきた倉敷管弦楽団の50年の歩みを祝うとともに、未来へ向けた新たな一歩を刻む特別な機会です。団員の皆様の技術と情熱が詰まった演奏、そしてダンスとオーケストラの融合を存分にお楽しみください。

今後もトヨタコミュニティコンサートが地域文化向上の一助になりますことを祈念いたしますとともに、本日も来場の皆様、また、開催にあたりご支援・ご協力を賜りました皆様に厚く御礼申し上げご挨拶とさせていただきます。

岡山県トヨタ販売店グループ 代表幹事  
トヨタカローラ岡山株式会社 代表取締役社長

**中川 裕二**

Yuji Nakagawa



## プロフィール Profiles

### 倉敷管弦楽団 Kurashiki Orchestra

本楽団は、「美しい音色と良いアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に1974年に設立されました。以来、文化都市倉敷にふさわしい熱気に満ちた楽団として地域に根差した活動を行っており、1982年に岡山県文化功労章、1985年に倉敷市文化連盟賞、2004年に岡山県三木記念助成金、2006年に福武文化奨励賞を受賞しました。

主な活動として、毎年プロ指揮者を招聘して本格的なクラシックコンサートである定期演奏会を開催しているほか、倉敷音楽祭では皆様に楽しんでいただけるプログラムを企画実施しています。レパートリーはバロックからオペラ、ミュージカル、ポピュラーまで幅広く、團伊玖磨作曲「管弦楽のための高梁川」や小六禮次郎作曲「瀬戸内賛歌」の初演も行いました。異ジャンルとの共演も数々行い、ダンスでは2007年第21回倉敷音楽祭で堤俊作指揮、矢上恵子振付でムソルグスキー（ラヴェル編）組曲「展覧会の絵」を上演して好評を博しました。

本年12月1日には創立50周年を迎えます。これまで楽団を支えてくださった皆様に感謝するとともに、地域の文化振興の一翼を担うべく、これからも多彩な演奏活動に取り組んで参ります。

### 指揮 (NHK交響楽団特別コンサートマスター) 篠崎 史紀 Fuminori Shinozaki



NHK交響楽団特別コンサートマスター。愛称「まる」。3歳より両親の手ほどきを受け、1981年ウィーン市立音楽院に入学。翌年コンツェルト・ハウスでコンサート・デビューを飾る。その演奏は、「信頼性のあるテクニック、遊び心もある音楽性」「真珠を転がすような丸く鮮やかな音色、魅惑的な音楽性」と各メディア紙から称賛される。その後ヨーロッパの主要なコンクールで数々の受賞を果たしヨーロッパを中心にソロ、室内楽と幅広く活動。

88年帰国後、群響、読響のコンサートマスターを経て、97年N響のコンサートマスターに就任。以来「N響の顔」として国内外で活躍する。ヨーロッパ公演では、The Classical Sourceより「コンサートマスターの篠崎は言葉にならないくらい神がかった」「篠崎のカリスマ的な姿は、銀白の鎧をまとった戦士のようにもあり、全てを統括していた」と評される。

2004年より銀座・王子ホールでスタートした『MAROワールド』。このシリーズから弦楽合奏団「マロカンパニー」が結成された。これらの功績により、『2020年度第33回ミュージック・ベンクラブ音楽賞』受賞。その他、79年史上最年少で北九州市民文化賞、2001年福岡県文化賞、2014年有馬賞受賞。

また、後進の育成にも力を注いでいる。WHO国際医学アカデミー・ライフハーモニーサイエンス評議会議員。

### コンサートマスター 澤田 しおり Shiori Sawada



桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。同研究科在学中に琴科高原音楽祭賞、中部読売新人賞受賞。ヴァイオリンを石井志都子、室内楽を徳永二男、豊嶋泰嗣の各氏に師事。NHK交響楽団にエキストラとして出演。レ・ミゼラブル等の東宝ミュージカルオーケストラに在籍。

現在、岡山フィルハーモニック管弦楽団の団員として幅広く活躍中。

### ティンパニ奏者 植松 透 Toru Uematsu



東京都出身。都立立川高等学校を経て国立音楽大学、同大学院にて打楽器を学ぶ。N響海外派遣員としてベルリンに留学。

国内外の音楽祭・ワークショップに多数参加、ソリストとしても武満やグラスの作品などN響とも度々共演、N響定期公演年間ベストソリストにも選出された。幼児と音楽の関わりを打楽器の視点から捉える研究も長年続けており、主宰する「たいこ アンサンブル・トムトム」と共に全国の幼稚園・保育園や特別支援学校、被災地などを訪れ講演やコンサート活動を展開している。ピタゴラスイッチ、ムジカピッコリーノなどETVの教育番組にも数多く出演。現在は埼玉県ときがわ町の山あいに居を移し、豊かな自然の中で地域の人々や子どもたちとの交流を通して楽しく心豊かな音楽作りを日々模索しています…。

トヨタコミュニティコンサート音楽監督 **三枝 成彰** Shigeaki Saegusa

1942年生まれ。作曲家。東京音楽大学名誉教授。

2007年に紫綬褒章、2017年に旭日小綬章を受賞。2020年に文化功労者顕彰を受けた。2008年、日本人初のブッチーニ国際賞、2011年渡辺晋賞ほか受賞多数。代表作にオペラ「忠臣蔵」、「Jr.バタフライ」(日本語版、イタリア語版)、「KAMIKAZE—神風」「狂おしき真夏の一日」、NHK大河ドラマ「太平記」「花の乱」、テレビアニメ「機動戦士Zガンダム」「機動戦士ガンダムZZ」、映画「機動戦士ガンダム～逆襲のシャア～」など。2022年、辻井伸行氏委嘱の「ピアノ協奏曲」と混声合唱版「最後の手紙」を初演。2023年、男声合唱と管弦楽のための「愛の手紙～恋文」を初演。現在、服部百音氏委嘱の最新作「ヴァイオリン協奏曲」を作曲中。

ダンス振付・演出 **福岡 雄大** Yudai Fukuoka

大阪府出身。ケイ・バレエスタジオにて、矢上香織、久留美、恵子に師事。

2003年文化庁在外研修員としてチューリッヒ・ジュニアバレエ団に入団後、2027年迄所属。2009年新国立劇場バレエ団に入団。2012年プリンシパルへ昇格後、ほぼ全ての作品へ主演出演。ゲストプリンシパルとしてパーミンガムロイヤルバレエ、Primosky stage of the Marinsky Theaterへ出演する他、トルコ・メルシン、ドイツ・ドルトムントでのガラ公演に出演。

こうべ全国洋舞コンクール・シニア部門グランプリ、ヴァルナ国際バレエコンクール・シニア部門銅賞受賞など、輝かしい受賞歴を持つ。2011年中川鋭之助賞、2013年舞踊批評家賞、2018年芸術選奨文部科学大臣新人賞、2023年芸術選奨文部科学大臣賞、等多々の輝かしい受賞歴を持つ。

ダンス振付・演出・ゲストダンサー **福田 圭吾** Keigo Fukuda

大阪府出身。3歳からケイ・バレエスタジオにてバレエを始める。同スタジオで、矢上香織、久留美、恵子に師事。

2001年こうべ全国洋舞コンクール・バレエ男性ジュニアの部第1位、2002年ジャクソン国際バレエコンクールでスカラシップ、2003年ローザンヌ国際バレエコンクールでプロフェッショナル・スカラシップを受賞。同年英国パーミンガム・ロイヤルバレエで研修し、2006年新国立劇場バレエ団に入団。2009年トワイラ・サーフの「ブッシュ・カム・トゥ・ショヴ」でプリンシパルに抜擢され好評を博し、19年「アラジン」で主役を踊る。10年ソリスト、12年ファースト・ソリストに昇格。古典、現代バレエ、創作を問わず様々な作品で主要な役を踊りこなしている。NBJコレオグラフィック・グループでは意欲的に作品を発表しており、振付家としての活躍も期待される。

ゲストダンサー **大前 光市** Koichi Omae

小学生の頃から新聞配達を10年以上続け、18歳から産経新聞奨学生として大阪芸術大学舞台芸術学科舞踊コースを卒業。卒業後にNoism04の最終オーディション直前に暴走した車に轢かれ、左足膝下を切断するも、その後10年かけて様々なダンスや身体操作や表現などを勉強し国内外のコンクールにて賞を受賞しはじめる。

2016年リオデジャネイロ・パラリンピック開会式のソロ出演を機に一躍脚光を浴び世界がガラリと変わる。第68回紅白歌合戦で平井堅と共演し、それをNHKスペシャルで特集され大きな反響を呼ぶ。東京2020オリンピック聖火ランナーにも選ばれ東京2020パラリンピック開会式にもメインキャストとして出演。その年に自伝『ぼくらしく、おどる』を学研プラスから出版。2023年には、日本舞踊英御流の名取となり英御流光市を襲名。

ダンサー **TCC倉敷ダンスカンパニー** TCC Kurashiki Dance Company

岡山山下に活動拠点を置く、クラシックバレエスタジオ及びダンススタジオに所属しているダンサー、小学4年生～成人までの希望者が、募集オーディションを受け選出された43人を構成メンバーとする。

<出演者所属団体> 井上敬依子バレエスタジオ、倉敷シティバレエ、Sojaバレエ、純バレエ教室、KAZUMI Dance Studio Luminous、谷山享子モダンバレエグループ

## 「アルルの女」組曲第2番

G.ビゼー

1838-1875

\*\*\*

Georges Bizet / L'Arlésienne Suite No. 2

### 「アルルの女って誰？」

劇付随音楽である「アルルの女」は、1872年、当時34歳だったフランスの作曲家ジョルジュ・ビゼーによって作られました。まずは、物語のあらすじを簡単にご紹介しましょう。

舞台は南フランス。ある日、裕福な農家の息子フレデリは、アルルの闘技場で出会った美しい女に恋をします。田舎育ちの純朴なフレデリに対し、アルルの女は都会の奔放な女。フレデリの家族は、地元の名門の娘ヴィヴィエットとの結婚を願っていますが、フレデリはアルルの女への恋の病で食事も喉を通らず、日に日に衰弱していく一方。見かねた母はついにアルルの女との結婚を許し、ヴィヴィエットもフレデリを愛するが故に自ら身を引こうとします。しかし、ヴィヴィエットの深い愛に心を打たれたフレデリは、アルルの女を諦めてヴィヴィエットとの結婚を決意します。

いよいよ婚礼の日、フレデリはアルルの女が馬の番人の男と駆け落ちすることを知ってしまいます。狂気と嫉妬にかられたフレデリは、祝いの歌声と踊りの中、納屋の高い窓から身を投げ、自ら命を絶つのでした。

美しい旋律からは想像もつきませんが、このお話は悲劇の実話とも言われています。もう1つ、お気づきでしょうか。フレデリが自殺を図るほどに激しく恋したアルルの女については、名前すら分かりません。あえて登場させないことで、アルルの女のミステリアスな奔放さや、そんな彼女に翻弄される青年とその周りの人々の心が生き生きと描写されているのではないのでしょうか。

「美しい女」「自由奔放」…もしかしたら「アルルの女」は、ビゼーが同時期に息を吹き込んだといわれるもう一人の宿命の女「カルメン」として、後にその姿を現したのかもしれない。

### 第1曲「バストラル」

舞台は刈り取られた葦が積まれたヴァカレス湖のほとり。大地を思わせる音楽で始まり、その後プロヴァンス地方の乾いた太鼓の響きに乗って、古風な舞曲が続きます。

### 第2曲「間奏曲」

劇でいうと中盤。アルルの女を諦めたフレデリが、幼馴染のヴィヴィエットとの結婚に傾くまでのお話です。冒頭の悲劇的な旋律や中間部の切ないアルト・サクソフォーンが、フレデリの絶望、そしてそれを心配する母心を表現しています。最後はフレデリの決心が聞こえてくるようです。

### 第3曲「メヌエット」

この曲は実は「アルルの女」のものではなく、編曲者でもありビゼーの親友でもあったギローが、大胆にも歌劇「美しいバースの娘」から転用したものです。ギローの見事な仕事により組曲として人気を博し、皆さまおなじみの一曲となりました。

### 第4曲「ファランドール」

プロヴァンス民謡の「3人の王の行列」「馬のダンス」が交互に登場、最後には一体となります。村人たちの楽しい踊りとフレデリの狂気を感じながら、華やかにフィナーレを迎えます。

いかがですか？いつもの「アルルの女」が全く違って聴こえてきませんか？ビゼーの代表作となったオペラ「カルメン」とこの「アルルの女」には、一度聴いたら思わず口ずさんでしまうくらい印象的な名旋律がたくさんあります。人々の心に響く音楽は後世まで鮮やかに残り続けることを、ビゼー自身が証明してくれているのです。

しかし、体が弱く心疾患のため36歳の若さでこの世を去った彼は、そのことを知りません。倉管50年の集大成、ビゼーはどこかで聴いてくれているでしょうか？「こんな美しい国で今もなお演奏されているよ」と伝わるように、心を込めて演奏したいと思います。

フルート：月本 裕子

ビゼーの代表作として、現在も演奏される機会が多いのが「アルルの女」「カルメン」の2曲がありますが、良い作品が1曲でもあれば後世に作曲家の名前が残ることが証明されています。

監修：三枝 成彰

初演：1872年10月1日 パリのヴォードヴィル劇場

楽器編成：フルート2(2nd ピッコロ持ち替え)、オーボエ2(1st イングリッシュホルン持ち替え)、クラリネット2、ファゴット2、アルト・サクソ、ホルン4、トランペット2、ホルネット2、トロンボーン3、ティンパニ、シンバル、バストラム、タンブラン(プロヴァンス太鼓)、ハーブ、弦5部

# ボレロ

## M.ラヴェル

1875 - 1937

\*\*\*  
Joseph Maurice Ravel / Boléro

### 「ボレロ」ってどんな曲？

「ボレロ」は、フランスの作曲家モーリス・ラヴェルが1928年に作った曲で、本日1曲目に演奏の「アルルの女」の初演から56年後となります。フランス印象主義の代表的な作曲家の一人で、フランスのバスク地方に生まれ、パリ音楽院で学んだラヴェル。在学中に作曲した「亡き王女のためのパヴァーヌ」や「水の戯れ」のほか、バレエ音楽「ダフニスとクロエ」などでも有名です。晩年は神経系の病気に苦しんでおり、「ボレロ」は実は彼の最後の大作です。最初はバレエ音楽として作られました。今はコンサートでもよく演奏される人気曲です。皆さんも、一度は耳にしたことがあるかもしれません。

### 曲の特徴

「ボレロ」の最大の特徴は、そのシンプルさです。約15分間、同じメロディーとリズムが繰り返されますが、ラヴェルの見事なオーケストレーションにより、単調に感じることはありません。この曲は、クラシック音楽においてタブーとされていた「同じリズムと音形の繰り返し」が取り入れられた最初の作品で、ポップスで見られるようなリズムの繰り返しによる高揚感を生み出します。ボレロの起源はアフリカ系音楽にあり、スペイン、フランスを経てヨーロッパに広まりました。

### ①リズム

全曲を通して、スネアドラムが同じリズムを刻み続けます。このリズムはスペインの舞踊「ボレロ」のリズムに基づいています。リズムが変わらないことで、聴いている人はどんどん引き込まれていくんです。

### ②メロディー

メロディーも同じものが繰り返されますが、演奏する楽器が次々と変わっていきます。最初はフルート、その後はクラリネット、ファゴット、ホルン…といった感じで、オーケストラの各楽器が次々に主役を務めます。それぞれの楽器がメロディーをどう表現するかを聴くのも、この曲の楽しみの一つです。

### ③ダイナミクス

曲が進むにつれて、音量がどんどん大きくなっていきます。最初はとても静かに始まり、最後にはオーケストラ全体がフォルテッシモ(とても大きな音)で演奏する大迫力のクライマックスに到達します。この徐々に大きくなる音の変化(クレッシェンド)に連れて、エネルギーが高まっていきます。

### 最後に

「ボレロ」は、そのシンプルさの中に深い魅力が詰まった曲です。同じメロディーとリズムの繰り返しですが、ラヴェルの巧みなオーケストレーションによって豊かに変化し、聴くたびに新しい発見があります。シンプルだからこそ難しく、だからこそ美しい「ボレロ」。一度じっくり聴いて、その魅力を味わってみてください。

打楽器：長谷川 清司

初演：1928年11月22日 バリ・オペラ座(オペラ・ガルニエ) ※バレエ付きで上演

楽器編成：ピッコロ、フルート2、オーボエ2(2nd オーボエダモーレ持ち替え)、イングリッシュホルン、クラリネット2(2nd E♭クラリネット持ち替え)、バスクラリネット、ファゴット2、コントラファゴット、ソプラノサクソフ、テナーサクソフ、ホルン4、ピッコロトランペット、トランペット3、トロンボーン3、ティンパニ、シンバル、バスターム、スネアドラム2、タムタム、ハープ、チェレスタ、弦5部

## 交響曲第7番イ長調 作品92

L.V. ベートーヴェン

1770 - 1827

\*\*\*

Ludwig van Beethoven / Symphony No. 7 in A major, Op. 92

### 交響曲第7番について

曲が始まった次の瞬間、「のだめ!」と気が付かれる方もいらっしゃるでしょう。そう、この交響曲第7番(通称ベト七)はかつての人気TVドラマ「のだめカンタービレ」のメインテーマでした。ドラマの中でこの曲を指揮した千秋の後ろで振ったのが松井慶太氏。一昨年・昨年定期で当楽団を指揮頂きました。

### ベートーヴェンとは

さて、ベートーヴェンが生きたのはフランス革命・革命干渉軍との戦争の激動の時代でした。パトロンである貴族が没落し、市民社会に音楽が浸透していきます。音楽の世界もこれに伴い古典派からロマン派に移行します。一方ベートーヴェン活動拠点のウィーンも戦争により混乱し、収入減・物価高・弟の失職等によりベートーヴェンも経済的に困窮します。そんな時期にベト七は作曲されます。交響曲第5番「運命」・6番「田園」が不評だったこともあり、興行的にも成功させる必要があったため第7番ではガラッと作風を変えます。分かりやすい曲、そのリズムを前面に打ち出した曲風です。単一のリズム反復を基調としたこの曲は、ワーグナー「舞踏の神格化」、リスト「リズムの神化」の評があります。また、ベートーヴェンの曲風がこの曲から古典派からロマン派に移行したとも言われます。

ちなみにベートーヴェンの交響曲でトロンボーンを使用したのは第5番が最初で、その後第6、9番に使用されましたが、第7番には使用されていません。当時、トロンボーンは宗教音楽でのみ多用されており、「レクイエム」や宗教を扱ったオペラ「魔笛」にも使用されています。

初演は1813年12月8日ウィーン大学講堂にて「傷病兵のための慈善コンサート」として戦争交響曲(15分の小曲)とともに演奏され、空前絶後の成功を収めます。

### <第1楽章> Poco sostenuto - Vivace

長い序奏の後、フルートによる躍動的なリズムでテーマが提示されます。楽章を通して単一のリズムパターンが執拗に繰り返されます。旋律を変え、楽器を変えながら同じリズムを最後まで貫き通します。

### <第2楽章> Allegretto

葬送行進曲です。途中、天上世界が2度現れます。この楽章も単一のリズムを繰り返します。哀愁をおびた旋律が楽器を変え、対旋律を加えながら繰り返されていきます。ワーグナーがこの第2楽章を「不滅のアレグレット」と評しました。ウィーン大学での初演ではアンコールに求められました。

### <第3楽章> Presto ⇄ Assai meno presto

第一主題は軽快なリズムで音が飛び跳ねていきます。中間部では穏やかな旋律が続きます。これを繰り返し、中間部が3回目に現れた途端急転直下、終結部を迎えます。

### <第4楽章> Allegro con burio

裏拍にアクセントを持った強烈なリズムで始まります。この楽章も単一リズムの繰り返します。フィナーレにふさわしい熱狂的な乱舞に胸を掻き立てられます。

ヴァイオリン: 城野 崇彦

初演: 1813年12月8日 ウィーン大学講堂

楽器編成: フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦5部



# ♪ 出演者紹介 Performers

## 倉敷管弦楽団出演者

第1ヴァイオリン：*澤田 しおり	佐藤 真理子	荒木 加英子	岩瀬 裕子	大西 ちひろ	城野 崇彦	新谷 敏子
藤田 真理	丸山 博樹	正吉 豊久	三宅 郁子	森安 鋭子	渡邊 陽子	
第2ヴァイオリン：小林 佐知	菊池 東	上原 保美	岡崎 将丈	奥山 晃子	串部 美幸	鳥越 悠斗
中川 雅美	中塚 えりか	野中 麻衣	林 寛子	平松 綾		
ヴィオラ：松江 靖子	赤塚 佳代	加來 祥太郎	片山 佳央理	*金子 剛	武本 克己	中谷 理佳子
中塚 祐子	吉田 典子					
チェロ：松江 雄二	大西 智幸	鎌田 奈那	栗木 由美子	黒田 正典	周藤 典子	竹内 健悟
辻田 順子	平松 真弓	平松 玲子	松本 圭子	松本 喜紹		
コントラバス：糸島 早苗	*河本 直樹	首藤 恵泉	野山 広正	三宅 七海	本屋敷 勝信	
フルート：河村 香織	重松 里奈	月本 裕子				
オーボエ：瀬尾 祥治	羽井佐 浩気	横尾 由利恵	三宅 優美	吉田 容子		
クラリネット：西島 弥生	福島 恭子	松本 美和子	三木 一弘			
ファゴット：浅野 絢子	夏目 和歩	ヘンリー・レビット				
ホルン：宇野 敏生	岡田 瑠璃	土屋 日奈子	*東 奈優			
トランペット：原田 宗範	山口 博子	山口 裕美	山口 裕司	山崎 雄大		
トロンボーン：樋口 仁	松田 英一郎	*段王 美咲	**曾布川 拓也			
チューバ：浅野 尚行						
ティンパニ：*植松 透						
パーカッション：陶山 真紀子	*小川 裕雅	*今井 忍	*難波 江理奈	*松本 千帆美		
サクソフーン：*井上 有記	*知念 明日香					
ハープ：*天野 世理						
チェレスタ：*畠山 勝子						
運営：山内 邦穂						

\*エキストラ \*\*団友



2024年8月11日(日) 第50回定期演奏会「幻想交響曲」より

# 振付解説 Choreography Notes

## ボレロ M.ラヴェル

1875 - 1937

\*\*\*

Joseph Maurice Ravel / Boléro

育ってきた環境も、ダンサーとしてのキャリアも、年齢も、すべてが異なるダンサーたち。この舞台で出会ったのも一つの奇跡に感じます。

そんな彼らと模索しながら振り付けを進めていくうち、ラヴェルの旋律に導かれるようにそれぞれの個性をぶつけ火花を散らしながら、一つの瞬間、一つの頂点に向かっていく感覚を覚えました。

様々なアイデンティを持つ奏者、ダンサー、お客様が一体となり日常で味わえない特別な空間が生まれる作品です。

振付: 福田 圭吾

## 交響曲第7番イ長調 作品92 L.v. ベートーヴェン

1770 - 1827

\*\*\*

Ludwig van Beethoven / Symphony No. 7 in A major, Op. 92

本作品はベートーヴェン交響曲第7番全楽章を音楽に乗せ、義足のダンサー大前光市氏をベートーヴェン役とし、4つのテーマを用いて彼の生涯と音楽を表現するダンス作品となりました。

### < 第1楽章 > 自然への賛歌

自然を表現しています。様々な自然のエレメントに分けられたダンサーが、力強い跳躍、伸びやかなポーズで広い空間を動き回ります。

### < 第2楽章 > 困難への抵抗

ベートーヴェンが聴力喪失という逆境に負けず、音楽の道を歩み続けた不屈の精神と、大前光市氏が義足というハンデを乗り越え、ダンサーとして活躍する姿を重ね合わせます。

### < 第3楽章 > 舞踊への情熱

ベートーヴェンがこよなく愛したダンス。華麗なステップ、軽快な動きを情熱的な表現で紡ぎます。

### < 第4楽章 > 歓喜への到達

これまでの第1楽章、第2楽章、第3楽章のムーブメントをベースにダイナミックで高揚感のある第4楽章に集約しました。音楽とダンスの調和を目指します。

およそ40分の作品ですが、ベートーヴェンの音楽が持つ力強さ、優美さ、そして心を揺さぶる感動を、ダンスを通して表現します。

振付: 福岡 雄大、福田 圭吾



バレエミストレス  
新国立劇場バレエ団ソリスト

五月女 遥  
SOUTOME Haruka

# ♪ 出演者紹介 Performers

## TCC倉敷ダンスカンパニー出演者

### ボレロ

大前 光市 福田 圭吾  
 神田 沙英 黒住 千裕 佐伯 倫奈 真田 愛弓  
 谷山 享子 友重 英美里 間野 和美 吉沢 心希

#### 子ども

犬飼 優桜 真田 望愛 中藤 心彩 山本 美月  
 ルグランジュリア ※五十音順



### ベートーヴェン 交響曲第7番

#### <クラシックパート>

石井 優里奈 榎田 瑞希 大住 和香菜 小川 明日香 小川 恵 金盛 美奈穂 光瀬 芽依 小鍛冶 佳子 小原 凜子  
 櫻井 瑞姫 真田 望愛 白髪 有佳 清田 百華 西 柚歩 福本 舞春 賣代 瑠依 松浦 心彩 山本 紗貴子  
 山本 美月 吉沢 心希

#### <コンテンポラリーパート>

網本 ころこ 市木 彩乃 犬飼 優桜 神田 沙英 黒住 千裕 香西 庸希 小玉 月渚 新山 玲未 杉田 夕宇子  
 谷山 享子 手槌 唯花 友重 英美里 中藤 心彩 西井 大地 西崎 莉央 西山 梨奈 間野 和美 ルグランジュリア

※五十音順



## トヨタコミュニティコンサートを通じた 地域への取り組み

### ※ パープルリボン & オレンジリボン運動と里親活動 ※

パープルリボン&オレンジリボン運動、里親のパネル展示を行っています。

パープルリボンは女性に対する暴力を、

オレンジリボンは児童虐待をなくす運動のシンボルです。

地域で子どもたちを温かく支えてくれる人を増やし、

子どもの支援の輪を広げることを目的に里親パネルの展示を行っています。

この地域で育まれたオーケストラとして、

すべての人に豊かな音楽ライフを届けたいという想いで、この活動を応援しています。

ぜひ、ブースにてご覧ください。



### ※ 交通安全啓発運動 ※

「交通事故死傷者ゼロ」に向けて

本日、会場入り口付近では、反射材効果の体験コーナーを行っています。

夜間の交通事故を防ぐには、歩行者には反射材の着用を

ドライバーにはハイビームの有効活用が効果的です。

体験された方には、反射材シールをお渡ししておりますので、ぜひお立ち寄りください。



トヨタ安全かたる

～クルマと語る、人と語る、道と語る～



交通安全はクルマ・人・道路環境とかたることから始まります。  
あなたはどの「かたる」から始めますか？

トヨタ交通安全こうつうあんぜん



交通安全を楽しく学びませんか？

交通ルールや豆知識を学べるすぐ近くの他に  
大人に役立つ情報もウェブサイトに掲載！





